

NEWS RELEASE



帝国ホテル

<http://www.imperialhotel.co.jp>

2014年(平成26年)10月29日

帝国ホテル開業 125 周年 記念企画について

期 間： 2014年11月1日 ～ 2016年3月31日

株式会社帝国ホテルは、2015年11月3日に開業125周年を迎えるにあたり、本年11月1日から2016年3月31日までを開業125周年記念期間とし、帝国ホテル東京を中心に、各種イベントの開催や記念商品の発売など、さまざまな活動を行ってまいります。



現在、日本を訪れる外国人旅行者数は、円安傾向の継続や富士山の世界遺産登録をはじめとした観光資源の充実化、昨年7月からのASEAN諸国に対するビザの発効要件免除・緩和措置などが追い風となり、年間1,000万人を超えた昨年に引き続き、さらに増え続けています。

また政府は、オリンピックイヤーである2020年に向けて訪日外国人旅行者をさらに2000万人まで増やすという強い意欲を示し、日本の観光産業は経済成長を支える大きな柱と位置づけられています。

当社においても同様に外国人宿泊客数は順調に増加し、2011年の東日本大震災後には一時20%台まで落ち込んだ帝国ホテル東京の外国人宿泊客比率も、現在では40%台に回復しています。また、本年10月1日には、経済成長著しい東南アジアからの更なる宿泊客増加やMICE需要獲得を図るため、シンガポールに営業所を新設しました。

オリンピックイヤーに向けての機運の高まりは国内に止まらず、いま日本は世界中から注目されています。当社は 125 周年を迎えるこのタイミングを、2020 年に向けての、またその先を見据えた飛躍の機会と捉え、設備の充実を図るとともに、様々な記念商品やイベントを展開してまいります。そして「国際的ベストホテルを目指す」企業理念の下、世界中のお客様の心に残るおもてなしを創造し、日本文化の発信基地としての役割と責任を果たしてまいります。

設備投資に関しては、帝国ホテル東京において、1983 年に開業したタワー館における改修・改装工事を行います。全 361 室を対象に、バスルームや空調設備の改修工事を行い快適性を向上させるとともに、高層階（20 階～31 階）に位置する特性を活かし、これまで以上に国内外のお客様に東京の眺望をお楽しみいただける客室空間に改装いたします。工期に関しては、2015 年 1 月から約 2 年をかけて、フロアごとに順次実施していく計画です。



なお、帝国ホテル大阪においては、2016 年 3 月 15 日に開業 20 周年を迎えるにあたり、2015 年 3 月 15 日から 2016 年 3 月 31 日までをキャンペーン期間とし、商品やイベントを展開する予定です。



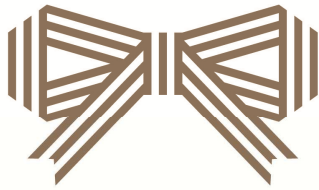
帝国ホテル開業 125 周年記念企画の内容は、次ページ以降の通りです。

■開業 125 周年 キャッチコピーとロゴマーク

帝国ホテルでは開業 125 周年にあたり、キャッチコピーとロゴマークを作成いたしました。

【和文】

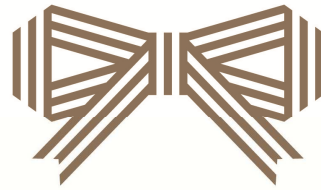
心で迎える。
心を結ぶ。



125th
Anniversary

【英文】

Hospitality
from heart to heart



125th
Anniversary

キャッチコピー「心で迎える。心を結ぶ。」(英文：Hospitality, from heart to heart)には、2020年のオリンピックイヤーに向けて、訪日外国人数の増加が今後一層見込まれている現在、国内だけではなく世界中のゲストを当社が誇るおもてなしの心でお迎える、という想いと、「結ぶ。」という単語を用いることによって、一過性ではなく、2020年の先を見据え、世界中に帝国ホテルファンをつくるビジョンを社内外に想起させたい、という二つの想いを込めています。

一方、ロゴマークのデザインは、上部にキャッチコピーを配置し、その下に「結ぶ」という言葉と連動して、リボン型の意匠を組み込むことで、周年を祝う華やかなイメージを表現しました。また、意匠の形状を折り紙状にし、幾何学的にすることで、日本らしさと帝国ホテルらしさを併せ持つデザインになるよう工夫し、さらに開業125周年を表す「125th Anniversary」の文字を組み合わせました。

なお、リボンの部分の三重線は、良いホテルの条件である「ハードウェア」「ソフトウェア」「ヒューマンウェア」を表現しているほか、①ホテルとお客様の心を結ぶ、②従業員の絆を結ぶ、③帝国ホテルの歴史を過去～現在～未来へと結ぶというストーリーを内包させています。

■開業 125 周年 記念イベント 《いずれも帝国ホテル東京》

◇開業記念日オペラコンサート

帝国ホテル開業 125 周年の幕開けを祝い、日本を代表する歌劇団・藤原歌劇団の歌手によるオペラコンサートを、本館 1 階正面ロビーにて鑑賞無料で行います。

日時： 2014 年 11 月 3 日 15:00～15:30、17:00～17:30
場所： 本館 1 階 正面ロビー
※いずれも鑑賞無料
出演： 山口佳子（ソプラノ）、小山陽二郎（テノール）、古瀬安子（ピアノ）

◇開業 125 周年記念展示

日本の近代史とともに歩んできた帝国ホテル 125 年の歴史を年表や写真パネルで振り返ります。これらは、帝国ホテル東京館内の正面ロビーをはじめとする 7 カ所に設置します。今回は 2020 年のオリンピックイヤーを意識し、1964 年の東京オリンピックに関する資料なども展示いたします。

期間： 2014 年 11 月 1 日（土）～2016 年 3 月 31 日（木）※予定
場所： 本館 1 階 正面ロビーほか館内各所

◇日本文化を発信する企画の展開

東京でオリンピックが開催される 2020 年まで、さまざまな角度から日本文化を発信する試みを、開業 125 周年を機に継続的に行ってまいります。

内容： 以下は現在実施が決まっている、シリーズの一部です。

3 月 28 日	帝国ホテル落語会 ディナー付きの落語鑑賞会です。
5 月 4 日	雅楽演奏家 東儀秀樹ディナーショー 前半は伝統的な雅楽と舞を、後半には琴の音色とともに現代的なオリジナル曲を演奏します。
8 月 22 日	第 6 回 東西をどり 京都・祇園の芸舞妓と東京・新橋の芸者による踊りの競演。英語イヤホンガイドを導入し、訪日外国人にも広く紹介します。
11 月 3 日	邦楽による開業記念ロビーコンサート 大蔵正之助一門による邦楽コンサートを本館 1 階正面ロビーで行います。鑑賞無料。

■開業 125 周年 記念商品について

《帝国ホテル東京・大阪・上高地共通》

◇プレミアムパスポート 125

開業記念期間に帝国ホテル東京、大阪、上高地にて、最大 200 万円相当の商品やサービスをお楽しみいただける「プレミアムパスポート 125」を謝恩価格（125 万円）にて販売いたします。「賓客用スイートご宿泊」など、お客様に“特別感”を味わっていただける内容に加え、多数のオプションを設け、お客様に“選ぶ楽しみ”もご提供する商品となっております。

内 容：

<基本パスポート>

ご購入いただいた皆様に共通の内容です。

- ①帝国ホテル東京、または大阪 賓客用スイートご宿泊券（2名様・1泊朝食付）
※ホテルハイヤーでのご自宅（東京都内または大阪市内）からホテルまでの送迎付
- ②帝国ホテル東京、大阪、または上高地スイートご宿泊券（2名様・2泊朝食付）
※上高地をご利用の場合は夕・朝食付
- ③帝国ホテル東京、大阪 直営レストラン・バーラウンジご利用券（30万円相当）
- ④総料理長 田中健一郎の書きおろしメニューによるお食事券（2名様・1回分）

<オプションパスポート>

15 種類のオプション商品の中からお好みの商品を組み合わせてお選びいただけます。組み合わせ方により、お選びいただける商品数が異なります。

【オプションパスポート組み合わせの一例】

- ・ホームパーティーへの出張サービスまたは宴会場プライベートパーティーご利用券
- ・帝国ホテル東京、または大阪主催のディナーショーご利用券（2名様・2回分）
- ・館内エステサロンでのエステご利用券（2名様）

価 格： 1,250,000 円（サービス料・消費税込）

販売時期： 2014 年 11 月 4 日（火）～2015 年 3 月 31 日（火）

有効期間： 購入日より 1 年間有効

ご予約・お問い合わせ先：

ホテル事業統括部顧客課 TEL 0120-111569

（月～金 9:00～17:00 ※祝日を除く）

≪帝国ホテル東京 婚礼≫

◇婚礼プラン 新「IMPERIAL WEDDINGS」販売

開業125周年を記念し、婚礼商品を5年ぶりに刷新いたしました。今回の新商品では、「それは、世界にひとつの幸せの物語。 Especially for you.」をコンセプトに、256通りの組み合わせを可能にしたテーブルコーディネートや、おもてなしのスタイルに合わせた会場レイアウトの提案など、より自分たちらしさを演出したいという新郎新婦のご希望をかなえます。

さらに、開業125周年謝恩商品として、適用期間限定でリーズナブルな価格設定の披露宴プラン「ESPECIAL (エスペシャル)」と、披露宴と挙式をセットにした少人数婚礼プラン「COFFRET (コフレ)」も発売いたします。

適用開始 : 2015年4月1日(水)

<開業125周年記念謝恩プラン 概要>

適用期間

2015年4月1日～4月30日、7月1日～8月31日、12月1日～2016年1月31日

◆ESPECIAL (エスペシャル) *40名様以上対象

40名様 1,250,000円、お一人様追加 24,000円

◆COFFRET (コフレ) *10名様～39名様対象

10名様 680,000円、お一人様追加 23,000円

※料金はいずれもサービス料・消費税込

《帝国ホテル東京 レストラン》

◇初代料理長メニュー

近年、帝国ホテルにご遺族より寄贈された初代料理長 吉川兼吉による料理書のレシピをもとに、「ラ ブラスリー」のシェフが、現代風のエッセンスを加えつつ当時のメニューを再現した特別なフルコースをお楽しみいただけます。

期間： 2014年10月28日（火）～12月18日（火）

場所： 帝国ホテルタワー地下1階
トラディショナルダイニング「ラ ブラスリー」

料金： 12,500円 ※消費税込、サービス料別

◇歴代コーヒーハウス人気メニュー

帝国ホテルにより多くのお客様を迎えるきっかけとなったレストランが、1967年に開業した「コーヒーハウス」であると言われています。その後の「ザ・テラス」、「さいくる」、「ユリーカ」、そして現在の「パークサイドダイナー」まで、歴代のコーヒーハウスで人気の高かった9種類のメニューを、125周年を記念して復刻し、ご提供します。

期間： 2014年10月28日（火）～12月18日（火）

場所： 帝国ホテル本館1階
オールデイダイニング「パークサイドダイナー」

料金： 1,400円～3,500円 ※消費税込、サービス料別

《帝国ホテル東京 宿泊》

◇帝国ホテル モノガタリ

インペリアルフロア（本館 14 階～16 階）のデラックスルームまたはジュニアスイートを 1 泊朝食・昼食付きでご用意し、あわせて本プランオリジナルの 4 つの特典をご用意いたします。

期間：2015 年 3 月 31 日（火）まで

※2014 年 12 月 30 日（火）～2015 年 1 月 3 日（土）を除く

料金：1 室 2 名様ご利用 85,000 円（本館インペリアルフロア デラックス）
124,000 円（本館インペリアルフロア ジュニアスイート）
（1 泊朝食・昼食付。サービス料・消費税込、宿泊税別）

◇夫婦日和

開業 125 周年を記念し、お二人の年齢の合計が 125 歳以上のお客様は、お部屋を 1 ランクアップグレードいたします。館内施設のご優待情報「オプションパスポート」もご用意いたします。

期間：2015 年 3 月 31 日（火）まで

※2014 年 12 月 31 日（水）～2015 年 1 月 2 日（金）を除く

料金：1 室 2 名様ご利用 52,000 円（本館スーペリア）
62,000 円（本館デラックス）
（1 泊朝食付。サービス料・消費税込、宿泊税別）

◇開業記念謝恩プラン

1 日 10 室限定の謝恩宿泊プランです。帝国ホテル 125 年の歴史や、ホテル館内の芸術作品を巡る館内マップをご用意いたします。

期間：2014 年 11 月 3 日（月・祝）～2015 年 3 月 31 日（火）

※2014 年 12 月 31 日（水）～2015 年 1 月 2 日（金）を除く

料金：1 室 2 名様ご利用 46,200 円（本館スーペリア）
（1 泊朝食付。サービス料・消費税込、宿泊税別）

■ 帝国ホテル 125年の歩み

- 1890(明治 23)年 日本迎賓館として、帝国ホテル開業(11月3日)
- 1891(明治 24)年 天皇誕生日を祝う「天長節夜会」が帝国ホテルにて開催(11月3日)
以降1903(明治 36)年までたびたび帝国ホテルで催される
- 1922(大正 11)年 ライト館一部竣工。日本初のショッピングアーケード営業開始(11月)
- 1923(大正 12)年 F・L・ライトの代表作・ライト館開業(9月1日)
挙式・披露宴を一貫してホテルで行う「ホテルウエディング」が始まる
- 1924(大正 13)年 ホテル内演芸場で新劇上演(2月) 以降演劇公演相次ぐ
- 1928(昭和 3)年 帝国ホテル初の海外研修生として、石渡文治郎らがパリへ(11月)
「フランス料理の父」エスコフィエから直に薫陶を受ける
- 1929(昭和 4)年 ツェッペリン伯号日本に飛来(8月20日)
帝国ホテルが日本-ロサンゼルス間の機内食を担当
- 1933(昭和 8)年 山岳リゾート第1号として、上高地帝国ホテル開業(10月6日)
- 1936(昭和 11)年 声楽家フィヨドール・イワノビッチ・シャリアピン来泊(1月26日)
この時シャリアピン・ステーキが誕生する
- 1945(昭和 20)年 連合軍の将官およびGHQ高官用宿舎として接収される(9月17日)
1952(昭和 27)年に自由営業再開(4月1日)
- 1953(昭和 28)年 超特急列車「つばめ」号の食堂車経営開始(8月1日)
ステーキが話題となる
- 1958(昭和 33)年 「インペリアルバイキング」営業開始(8月1日)
ブフェレストランの代名詞として「バイキング」が広まる
- 1961(昭和 36)年 日本初の国際ロータリー大会開催(5月28日)
国際会議や催事の増加により、第1次ホテルブームが到来
- 1964(昭和 39)年 東京オリンピック開催(10月10日)
帝国ホテル料理長・村上信夫他14名が
オリンピック選手村食堂を担当
- 1966(昭和 41)年 シアターレストランインペリアル開業(3月1日)
- 1970(昭和 45)年 現本館開業(3月10日)
大阪万国博覧会開催にともない、第2次ホテルブームが起きる
- 1975(昭和 50)年 エリザベス英女王殿下来館(5月9日)
歓迎午餐会での魚料理に「レーンヌ・エリザベス」の名を賜る
- 1983(昭和 58)年 インペリアルタワー(現 帝国ホテルタワー)開業(3月13日)
- 1996(平成 8)年 帝国ホテル 大阪開業(3月15日)

2004(平成 16)年	第 1 回インペリアル・ジャズ・コンプレックス開催(8 月) 以降毎年の恒例イベントとして人気を博す
2009(平成 21)年	ハワイ ハレクラニ、ワイキキパークホテルとの提携開始(4 月 1 日)
2012(平成 24)年	I M F ・世界銀行年次総会開催 (10 月)